

## 「大阪都市魅力創造戦略 2025（仮）」の KPI の設定について（案）

## ◇戦略 2020 の KPI

	指 標	目標値 2020	達成状況
観光都市 魅力	来阪外国人旅行者数（※1）	1,300 万人	〔2019〕 1,231 万人
	来阪外国人旅行消費額（※2）	1 兆 1,900 億円	〔2019〕 1 兆 5,665 億円
	国際会議開催件数（JNTO 基準）	340 件	〔2018〕 240 件
	延べ宿泊者数	3,600 万人	〔2019〕 4,743 万人
文 化	府内外から人々が集まり、芸術活動が活発になっていると思う府民の割合（※3）	40%	〔2019〕 30%
	文化的環境が整備されていると思う府民の割合（※3）	40%	〔2019〕 33.7%
スポーツ	大阪にゆかりのあるプロスポーツ 7 チームの年間主催試合観客者合計数	360 万人	〔2019〕 303 万人
	成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	50%	〔2019〕 56.2%
国際化	大阪で学ぶ留学生数	23,000 人	〔2019〕 26,257 人
	大阪で働く外国人労働者数	61,000 人	〔2019.10 時点〕 105,379 人

## 【留意事項】

## ※1 来阪外国人旅行者数

現在は、訪日外客数（JNTO）×訪問率（訪日外国人消費動向調査）で積算。

2018 年より観光庁において、全国値との整合性を持ち地域間比較が可能な「地域観光統計（※4）」において訪日外国人都道府県別訪問者数を公表。

<地域観光統計における訪日外国人都道府県別訪問者数の算出方法>

（訪日外客数－船舶観光上陸許可を得た訪日外国人（いわゆるクルーズ客））×訪問率  
訪日外国人訪問者数〔大阪〕 〔2019〕1152.5 万人

## ※2 来阪外国人旅行消費額

現在は、来阪インバウンド消費額調査による来阪外国人一人当たり平均支出額×来阪外国人旅行者数（※1）で積算。

上記同様、地域観光統計において、訪日外国人都道府県別消費単価を公表。

<地域観光統計による推計>

訪日外国人旅行消費額〔大阪〕 〔2019〕8,413 億円（1152.5 万人×7.3 万円）

## ※3 2020 年度で調査終了

## ◇国内旅行の推進／質への転換をはかる指標（例）

指標（出典）	参考値
日本人訪問者数〔大阪〕（※4） 「旅行・観光消費動向調査(地域観光統計)」(観光庁)	(2019) 5,438 万人
延べ宿泊者数（内日本人）〔大阪〕 「宿泊旅行統計調査」(観光庁)より推計	(2019) 2,950 万人
一人当たり平均宿泊数〔大阪〕 「宿泊旅行統計調査」(観光庁)より推計	(2019) 1.41 泊/人
日本人旅行消費額〔大阪〕（※4） 「旅行・観光消費動向調査(地域観光統計)」(観光庁)	(2019) 10,286 億円
日本人旅行消費単価〔大阪〕（※4） 「旅行・観光消費動向調査(地域観光統計)」(観光庁)	(2019) 19,000 円
来阪外国人一人当たり平均支出額 「来阪インバウンド消費額調査」(大阪観光局)	(2019) 127,292 円
訪日外国人消費単価〔大阪〕（※4） 「訪日外国人消費動向調査(地域観光統計)」(観光庁)	(2019) 73,000 円

※4 地域観光統計は、観光庁の基礎統計を活用して試算、公表されている加工統計。(2018 年～) 全国値との整合性、地域（都道府県）間比較が可能。

## ◇世界基準 MICE の推進をはかる指標

指標（出典）	参考値
国際会議開催件数（ICCA 基準）	(2018) 15 件

## ◇高度人材の推進をはかる指標

指標（出典）	参考値
府内在留高度外国人材数 「在留外国人統計」(法務省)	(2019.12) 30,173 人

## ◇その他参考指標

指標（出典）	参考値
世界の都市総合ランキング（文化・交流分野） 「世界の都市総合ランキング」(森記念財団)	(2019) 29 位
自分の住んでいる地域に愛着を感じている府民の割合 「将来ビジョン・大阪に関する調査」(大阪府)	(2018) 65%

## ◇文化に関する指標

- ・ 過去 1 年間の「趣味・娯楽」行動における文化芸術関連の状況
- ・ 劇場、音楽堂等における多言語化対応の割合
- ・ 大阪が楽しいまちだと思っている人の割合
- ・ 舞台芸術・芸能公演数 など

文化振興会議で議論中

## KPI 設定の考え方

## ■どのような指標項目を用いて評価を行うか

## ■目標値を設定するかどうか

- （案 1）設定する
- （案 2）設定しない（ただし、評価・検証、フォローアップを実施）
- （案 3）項目によって、案 1、案 2 により設定

## ■設定する場合の目標の置き方

- （案 1）当面の目標：現目標レベル（又は 2019 年度数値）まで戻す  
2025 年度の目標については、社会経済状況を見極め、改めて指標、目標値を設定
- （案 2）2025 年度に向けた目標値（伸びを見越す）を設定